

長岡京の きらり


いいひと・もの・こと
みつけたっ

vol.18

長岡京市のことが大好きな市民ライターが、市内できらりと輝く、ステキなひと・もの・ことを紹介するコーナーです。今回は、市の文化財を守り、発掘・調査にも長年携わってきた“きらりさん”を紹介します♪



【今月の担当】 たなか たつや 田中 達哉
 長岡京市で生活して約50年、美しい風景やユニークな活動など、まだまだ知らないことばかり。空撮を通じて、まちの魅力や物語を発信していきたいです。



語り部として伝えたい 文化財から聞こえるメッセージ —発掘調査の舞台裏—

私たちのまちには、多くの文化財があります。長八小の西側にある、いげのやま 恵解山古墳もその1つ。現在は公園として整備されています。約700点の鉄製武器が出土したのですが、実は危うく失われるところだったというエピソードが。発掘調査に携わった、今月の“きらりさん”岩崎さんから、当時の苦労や歴史への思いを聞きました。

岩崎さんは当時、市の文化財職員として発掘調査に参加しました。多量の鉄製武器が出土した時、埋葬方法から、大王級の人物に違いないと確信。「えらいこっちゃという驚きと同時に、感動もこみ上げてきました」と語ります。文化財保護への意識が今よりも低く、開発工事などで重要な遺跡などが壊されることもあった時代です。出土位置も重要なため、動かされることで情報が失われな



▲北東側から空撮した恵解山古墳 (空撮：田中達哉)



墳頂部にたたずむ岩崎さん。公園整備にも携わりました▶

今月の
きらりさん
いわさき まこと
岩崎 誠さん



かったり、虫や動物と遭遇したり、今では楽しい思い出ですが、当時は大変やったんです」と振り返ります。十分な体制ではない中「全員が『この調査は大事だ』と自覚して、必死でやり遂げました」。山崎合戦で明智光秀が古墳に本陣を置いたかもしれない話や石室の石が市内の民家に庭石として残っていることなども、発掘調査の舞台裏とともに話してくれました。

長年にわたり、文化財の保護や調査に携わってきた岩崎さん。今では歴史の貴重な語り部として活躍されています。「文化財は市民の誇りであり、昔の人たちからのメッセージ。公園を使う人が、遊びや憩いの場として楽しみながらも歴史に興味を持ってくれるとうれしい」と話す岩崎さん。文化財への思いがあふれていました。

きらりさんの オススメ店

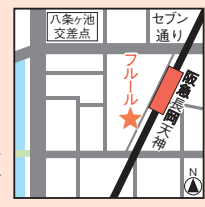


純喫茶フルール

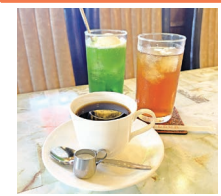
岩崎さんに、市内のオススメのお店を聞きました！

埋蔵文化財センターで働いていた頃によく訪れていました。コーヒーがとてもおいしいです。お店はもちろんスタッフの方の雰囲気も良く、今も家族ぐるみで親しくしていただいています。

☎天神1-8-2 ☎951-6759
 ◎午前10時～午後9時(ラストオーダー午後8時30分)
 ①②③定休(祝日は営業、翌④振替休)
 65席・全席禁煙/無料駐車場あり(11台)



お店からのプレゼント



「お好きな飲み物1点」

応募方法は23ページへ

